



**freeでのMackerelの使い方**



浅羽義之 Yoshiyuki Asaba

2015/5 ~ free

プロダクト基盤(SREなど)本部長とエンジニア新卒採用責任者をやっています

- RDBMSと自動化が大好き

## ☆ はじめる



### 会社設立 free

(2015年6月リリース)

### 開業 free

(2016年10月リリース)

**5分**: 会社設立用の書類を最短5分で作成

**モバイル**: スマホ完全対応で、どこでも会社設立

**ワンストップ**: 実印発注や銀行口座作成もできる

シェアNo.1

## 🔄 運営する



### クラウド会計ソフト free

(2013年3月リリース)

**自動**: 銀行やカードの口座と連携し、人工知能で会計帳簿を作成

**簡単**: 簿記の用語を使わない画面設計で簡単に使える

**最適化**: 請求書発行や経費精算などの業務も最適化

**実績**: クラウド会計ソフトシェア No.1 で安心の実績

**サポート**: チャットによる迅速なサポートを提供

**決算**: 決算や個人事業主の申告まで自動で簡単に

シェアNo.1

## ↗ 育てる



### クラウド給与計算ソフト free

(2014年5月リリース)

**簡単**: 知識がなくても1クリックで給与計算

**勤怠**: 勤怠管理も簡単に

**オンライン**: 給与明細はオンラインで配布

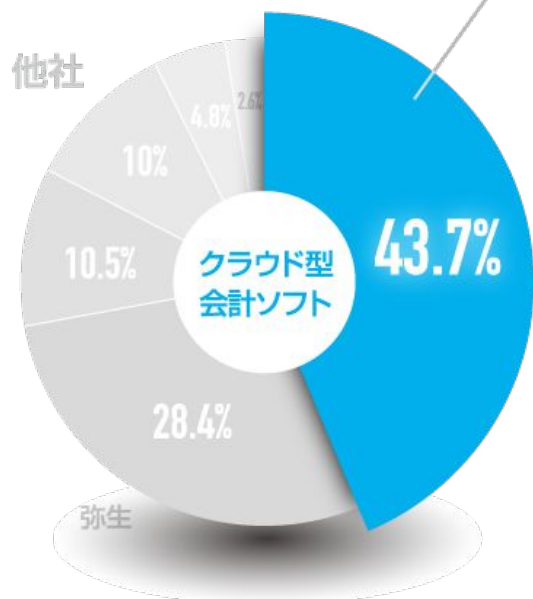
**会計連動**: 会計ソフトと完全データ連携

**政府連携**: 行政手続きもオンラインで完結

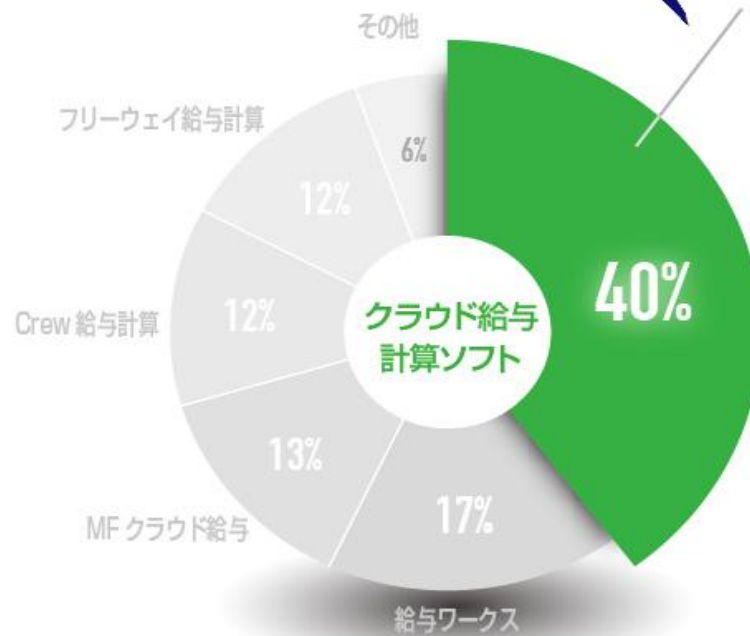
**マイナンバー**: マイナンバー管理も完全対応

## 有効事業所数は **80万事業所** を突破 会計・給与共に**トップシェア**

クラウド会計ソフト市場  
マーケットシェア\*  
(法人・個人)



クラウド給与ソフト市場  
マーケットシェア\*



\* デジタルインファクト調べ

\*MM総研調べ



# Mackerel導入前の話

---

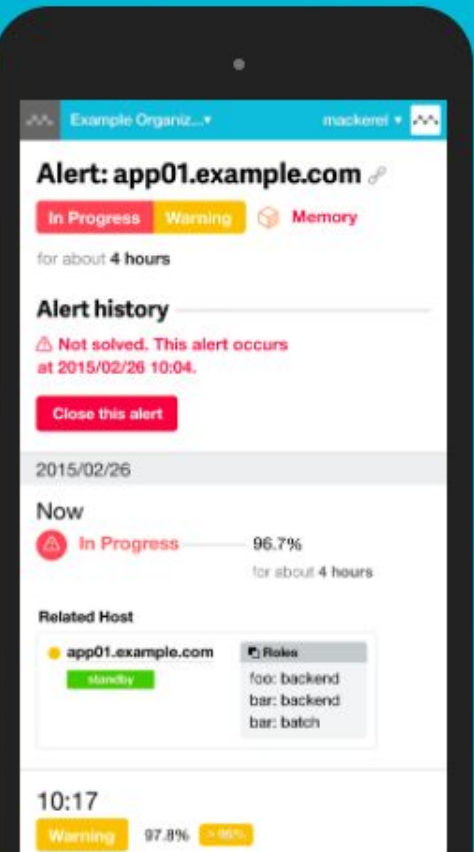
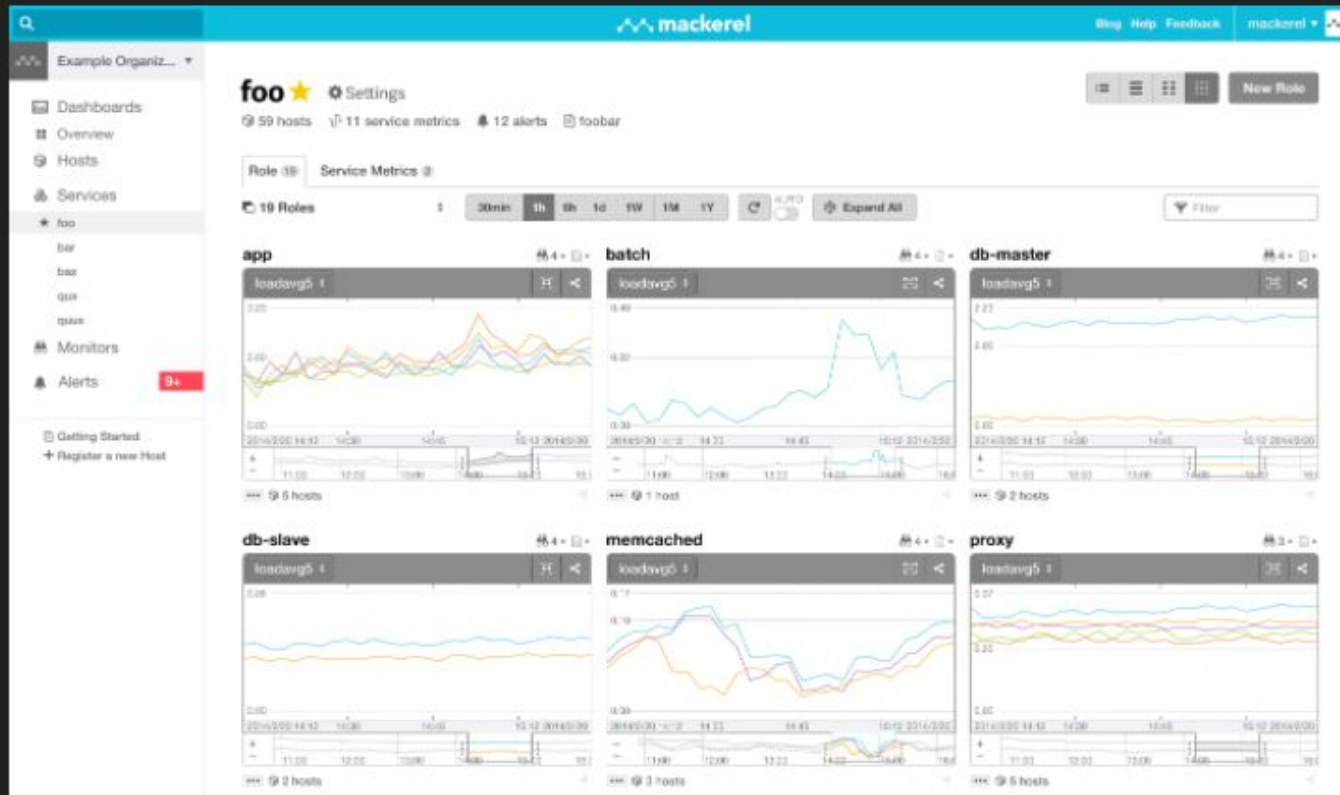
A screenshot of a Speaker Deck presentation slide. The slide has a white background and is framed by a dark border. At the top left, it says 'Speaker Deck' and at the top right, 'Published on Oct 17, 2016'. In the top right corner of the slide content, there is a small 'free' logo. The main text is centered and reads: 'Zabbix から Mackerel へ' in large blue font, followed by 'Mackerel で実現したコストダウン' in smaller blue font, and 'Mackerel Meetup #8 Tokyo' in grey font. At the bottom, there is a dark control bar with navigation arrows, a progress indicator, and a 'share' button.

<https://speakerdeck.com/manabusakai/zabbix-to-mackerel>

- Zabbixを当時使っていた
  - VPCごとにzabbix serverを運用
  - 機能が豊富なので作り込めば色々なことができる
    - しかし作り込みや運用に時間を取れない状況
- いくつかの製品を評価
  - 移行のしやすさ
  - 製品の進化スピード
  - 使いやすさ(UI, API, CLI)
  - コスト
    - AutoScalingとの親和性

## エンジニアをワクワクさせる「直感的サーバー監視サービス」

洗練されたグラフ、「役割」の概念、柔軟な通知設定、オートスケールとの親和性、その他革新的な機能 ▶





- **Mackerel**
  - リソースの監視、外形監視など
  - アラート通知
- **NewRelic**
  - アプリケーション内部
- **CloudWatch**
  - autoscalingのトリガーとして使用
  - MackerelのAWS integrationを使ってMackerelに集約
- **Bugsnag**
  - アプリのエラーログ
- **Deep Security as a Service for AWS**
  - セキュリティ監視



# Mackerel活用例

---

## AWS EC2のタグ

- Project
  - サービス名
- Role
  - web, worker, batch等のサービス内のサーバの役割
- Stage
  - production, staging,...
- hostname(tagではない)
  - 起動時に勝手につく名前

## Mackerel

- Service
  - サービス名\_Stage名
- Role
  - web, worker, batch等のサービス内のサーバの役割
- Host
  - そのまま

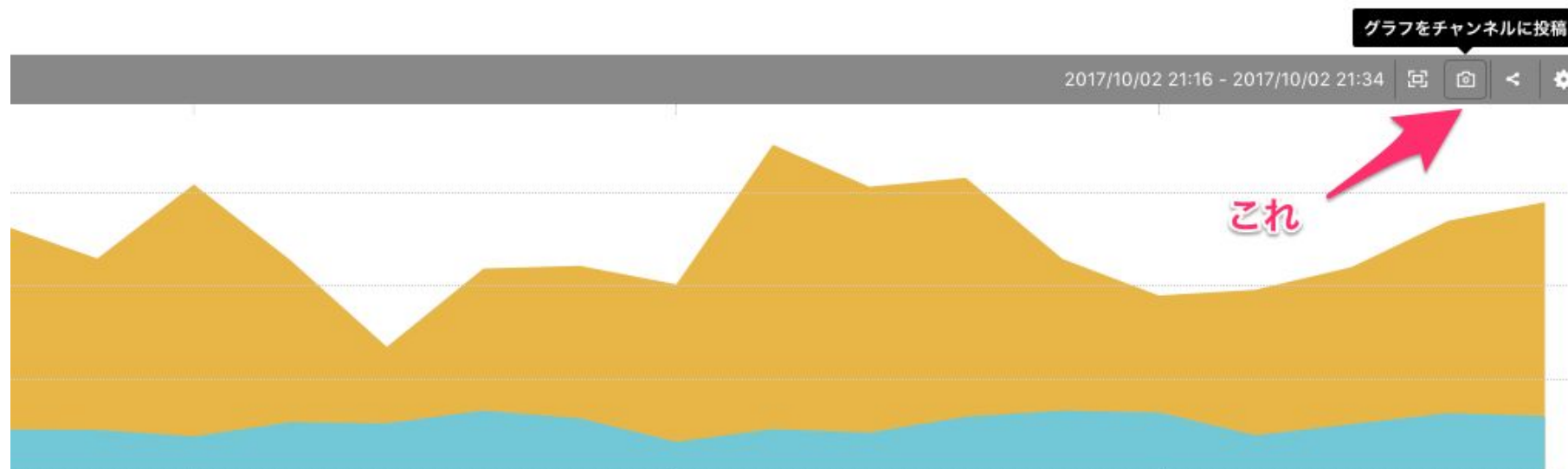
プロビジョニングやデプロイはEC2タグで処理を分けているので、  
タグの情報をそのままMackerelへ移植

## 通常時

- ダッシュボードかサービス一覧のグラフを眺める
  - 定期的にパフォーマンス振り返り会を実施
  - ぽちぽち作るのは面倒なのでmkrコマンドで作る
  - さらに深掘りしたい場合はNewRelicで確認する

## 何かあったときやグラフをシェアしたいとき

- 「チャンネルにグラフを投稿」が超絶便利



いつデプロイしたかわかるように記録



```
mkr annotations create --title "Deploy application" --from ${timestamp} --to ${timestamp} --service hoge
```

or

```
json_data=$(cat <<EOF
```

```
{  
  "title": "Deploy application",  
  "from": ${timestamp},  
  "to": ${timestamp},  
  "service": "hoge"  
}
```

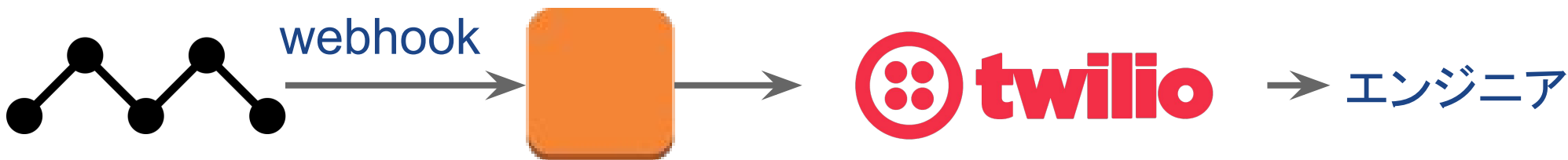
```
EOF
```

```
)
```

```
curl -sS https://mackerel.io/api/v0/graph-annotations -X POST \  
-H "X-Api-Key: ${api_key}" -H "Content-Type: application/json" -d "${json_data}"
```

- サービスに紐づくメトリック
  - レスポンスタイム(ALBのCloudWatchから取れるといえ取れる)
  - 非同期ワーカーの未処理のキュー
  - サーバー台数
- サービスメトリックの放り込み方
  - `/api/v0/services/<serviceName>/tsdb` にPOSTするだけ
  - Lambda経由で放り込む

- 基本的にはslackに通知
  - WarningはSREが見る
  - Criticalは広めに通知
- 夜中のアラート
  - PagerDutyなどは使わずに雑にbotが電話をかけていく
  - slackに誰かが反応したら電話を切る



- mackerel-plugin-linux
- mackerel-plugin-mailq
- mackerel-plugin-multicore
- mackerel-plugin-mysql
- mackerel-plugin-nginx
- あとはAWS integrationで

より細かい情報を見たいときはNewRelicで深掘りしてます



- Host Statusの初期状態はstandby
  - AutoScalingのUserDataが動いている間はアラート出したいくない
  - UserDataの中でmkrを叩いてworkingに戻す
    - 構築がコケた場合も
- 実験的機能
  - とりあえずonにしておく

## Host Statusの初期状態

新規ホストのステータスはstandbyです。  
[より詳しく](#)

standby



working

## 実験的機能

実験的に提供される機能を有効にします。





# Mackerelに欲しい機能

---

- 毎月の支払(レシート)をPDFで欲しい
  - 経理に提出する書類を作るのがちょっと面倒。。。
- AWSインテグレーションも自動退役機能が欲しい
  - EC2でないリソースを主にstaging環境で作ったり消したりするので、消すスクリプトを作った
  - タグ・除外タグをサービスごとに設定できると嬉しい



まとめ

- 全く問題なく運用できてます
  - 開発者、CRE、その他関係者に支えられております
- 懇親会で詳細を聞きたいことがありましたら声をかけてください！

*"Take a chance!  
All life is a chance.  
The man who goes the farthest is  
generally the one  
who is willing to do and dare."  
- Dale Carnegie*

**free  
wants  
you**





スモールビジネスに携わるすべての人が  
創造的な活動にフォーカスできるよう